

神戸市感染症発生動向調査週報

平成29年1月5日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

設置定点数 48 ケ所

第52週 2016年 12月 26日 ～

2017年 1月 1日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	30	13	11	11	58	24	35	72	74	328	1	1	8	11	10	14	10	10	20	20	18	80	26	15	21	31	9	9	11	3

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

小児科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
R Sウイルス感染症	1				2			2	6	11	3	2	5				1							
咽頭結膜熱							3	3	1	7			1	3	1	1					1			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	1			3	1	2	1	14	25					1	1	3	8	2	1	5	2	1	1
感染性胃腸炎	17	8	7	6	56	12	28	82	53	269	4	10	25	25	25	16	16	17	27	8	16	27	5	48
水痘	1		3		8	4	2	5	5	28		2	3	1	1	5	5	4	1	1	1	4		
手足口病	1	1	1			1			1	5			3		2									
伝染性紅斑																								
突発性発疹	2					1	1	1	3	8		2	4	2										
百日咳																								
ヘルパンギーナ								3		3			2		1									
流行性耳下腺炎	3	5	1		4		9	4	5	31				4	4	2	6	3	2	3	3	4		

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎	2							1	1	4						1							1	1		1			

（定点機関から報告されたその他の感染症情報）

灘 区○マイコプラズマ感染症1例:10代女(6202)
北 区○アデノウイルス感染症0～4歳男(6505)
西 区○アデノウイルス感染症1例:年齢・性別不詳(6903)
西 区ORSウイルス感染症1例:年齢・性別不詳(6903)
西 区○マイコプラズマ肺炎2例:5～9歳女(6905)

（インフルエンザ定点機関から報告された迅速キット陽性情報）

A 型	B 型
271	4

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

[「ILI情報センター」ホームページを開設しました！詳細はこちらをクリック](#)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は0人です。

【インフルエンザに注意！】

第52週は医療機関の年末年始の休診と重なるため、他の週と比べて全体的に感染症の報告数が少なくなっています。その中で、インフルエンザも先週に比べて患者報告数は減少してしましますが、他の年の同時期と比べると多くなっています。例年、神戸市では、年明けから患者数が急増し、1月下旬～2月上旬にピークを迎えます。今シーズンは、例年よりも早く患者数が増加しています。詳細はグラフでご確認ください。

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

平成28年の侵襲性肺炎球菌感染症の報告数が全数報告が開始された平成25年以降最も多くなっています（H25年：23例、H26年：28例、H27年：34例、H28年：65例）。この疾患は本来は無菌環境である髄液や血液等から肺炎球菌が検出されたものであり、小児および高齢者を中心に報告があります。症状は肺炎のほか髄膜炎や菌血症など重症化することがあります。神戸市の過去の全届出（150例）をみると、性別では男89例・女61例と男性が多く、年齢別では0～4歳:33例、5～9歳:11例、10代～50代:27例、60代以上:79例と5歳未満及び60歳以上の患者が全体の64%を占めています。平成25年11月から小児の肺炎球菌ワクチンが定期接種化され、予防接種歴がある小児の菌株については、ワクチン株との一致などを国レベルで調べています。

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2017年1月5日 作成

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	10代	2016年11月21日	2016年12月5日	2016年12月28日	早期顕症梅毒 Ⅰ期	RPRカードテスト TPHA法	初期硬結 鼠径部リンパ 節硬性下疳	異性間性的接触	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2016年12月23日	2016年12月23日	2016年12月28日	不明	血液培養法	ショック DIC 中枢神経症状	創傷感染 (仙骨部 じょく創)	

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	70代	2016年12月29日	2016年12月29日	2016年12月30日	/	血液培養法	発熱、肺炎、 菌血症	不明	ワクチン接種歴1回

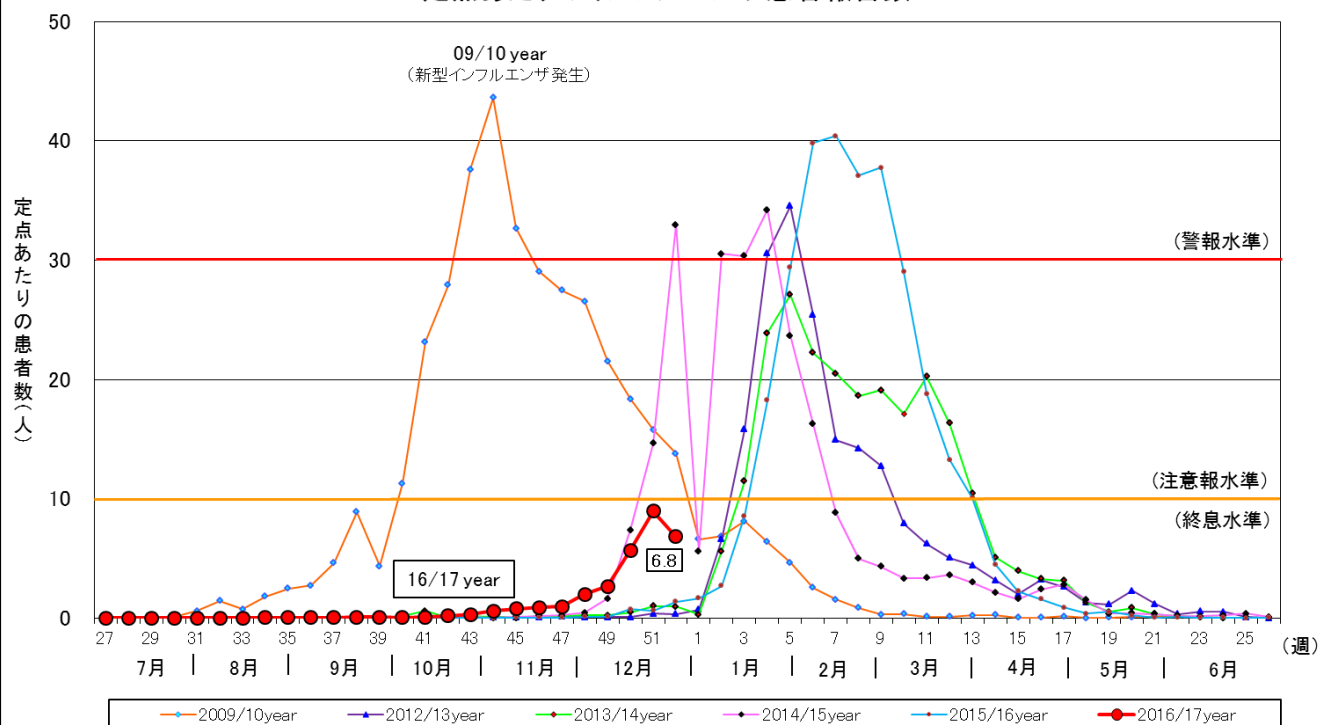
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	0～4歳	2016年12月28日	2016年12月29日	2016年12月30日	/	臨床決定	発熱、痙攣、 意識障害	不明	病原体不明

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	届出医療機関所在区	状況
コクサッキーウイルスA6型	水疱内容物	垂水	1歳5ヶ月男児(12/19採取、発熱なし、手足口病)
A型インフルエンザウイルス (H3亜型)	鼻腔ぬぐい液	垂水	34歳10ヶ月男性(12/19採取、37.7℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	垂水	11歳9ヶ月女児(12/20採取、39.7℃、インフルエンザ、ワクチン接種歴不明)
	鼻腔ぬぐい液	西	2歳3ヶ月男児(12/20採取、発熱あり、インフルエンザ、ワクチン未接種)、家族内感染
アデノウイルス2型	便	垂水	3歳男児(12/16採取、37.6℃、感染性胃腸炎)、ノロウイルスGIIとの重感染
アデノウイルス3型	咽頭ぬぐい液	須磨	3歳女児(12/13採取、39℃、咽頭結膜熱)
ノロウイルスGII	便	垂水	11ヶ月男児(12/19採取、発熱なし、感染性胃腸炎)

定点あたりのインフルエンザ患者報告数

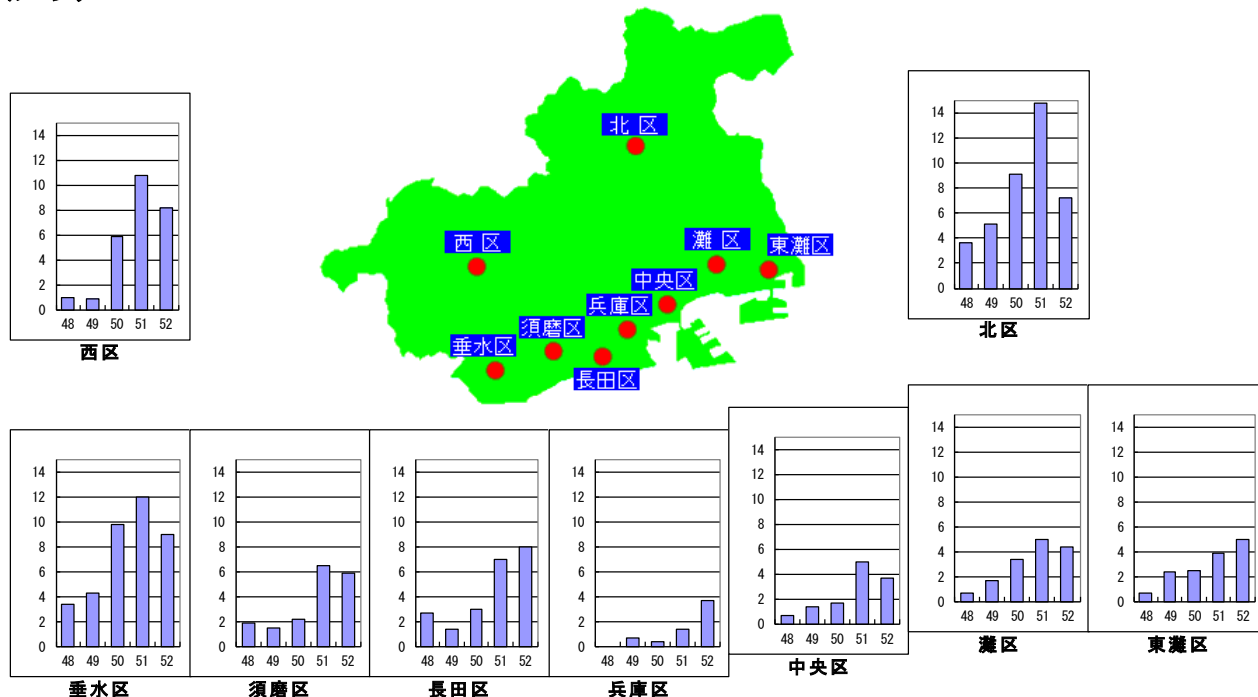


疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 48 週 平成28年11月28日

第 52 週 平成28年1月1日

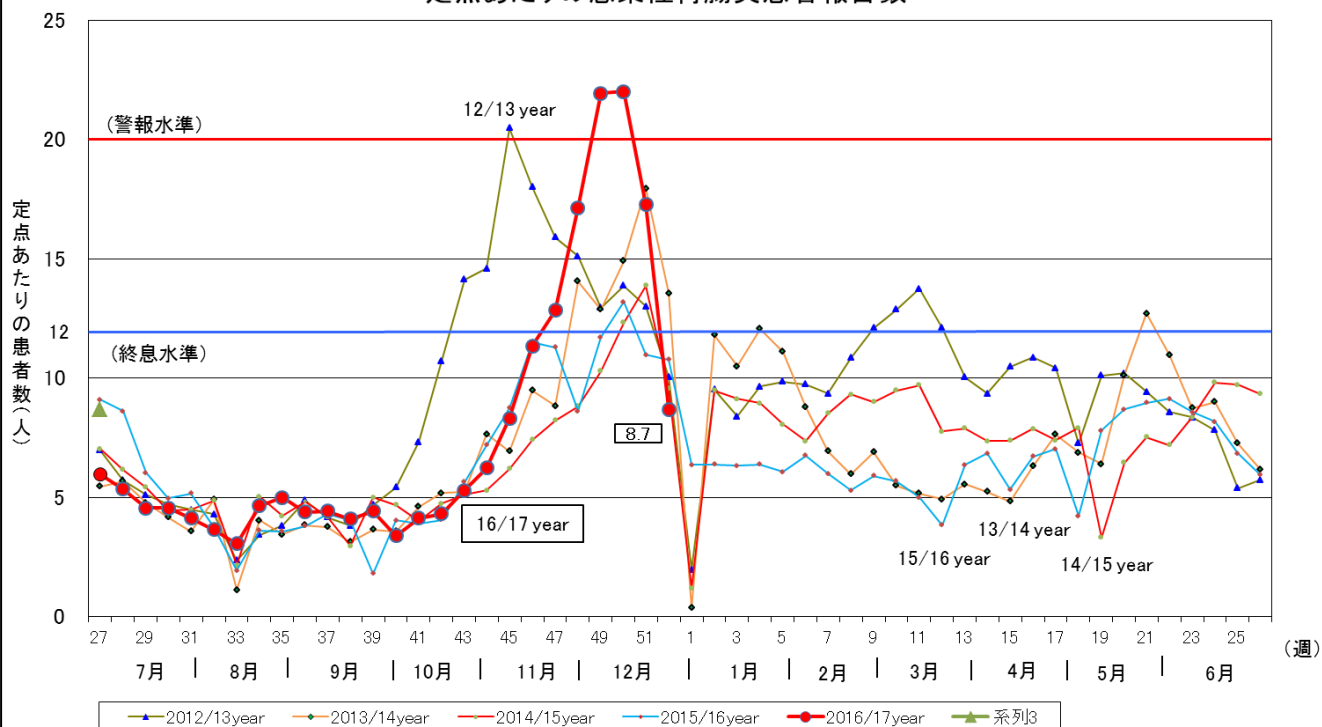
インフルエンザ



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

市内インフルエンザ定点 (48カ所)	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
	6	3	3	3	8	3	6	8	8

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



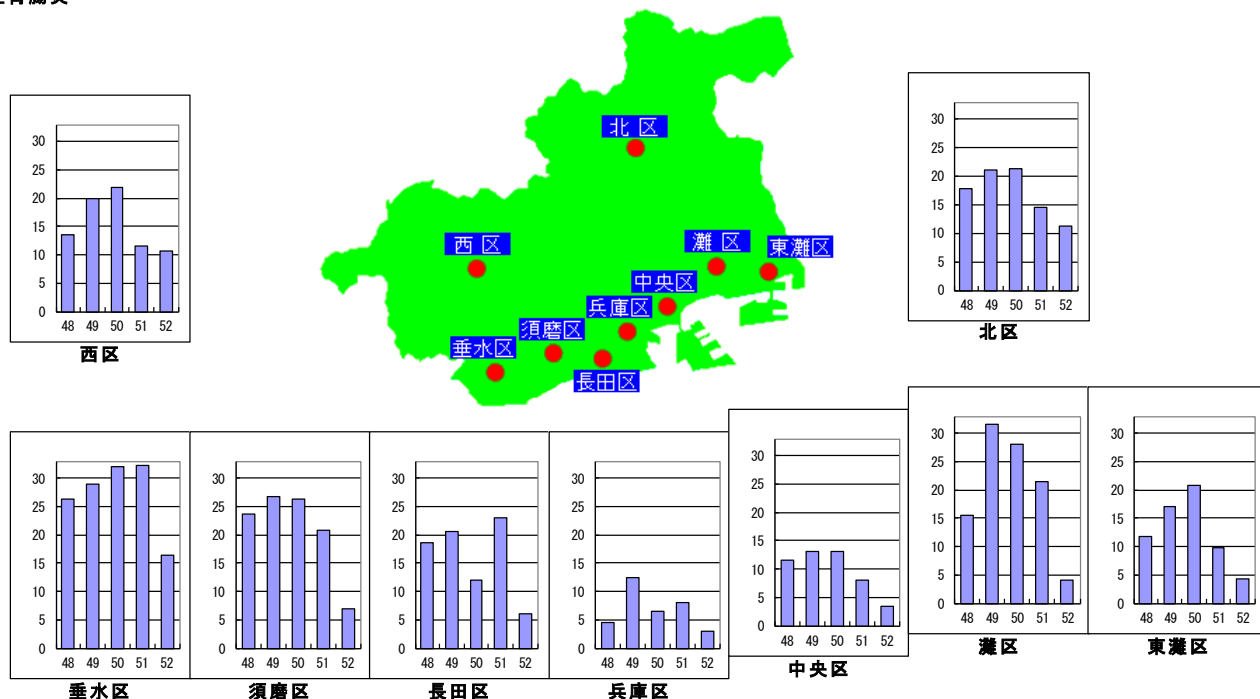
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 48 週 平成28年11月28日

～

第 52 週 平成28年1月1日

感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

市内小児科定点 (31カ所)	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西
	4	2	2	2	5	2	4	5	5